【委員会報告】

【総務委員会報告】

鉢嶺 秀樹（高30回）

こんにちは、総務委員会です。さて、皆さんから、総会・懇親会の受付で頂いているチラシの半券は、会の終了後、会員名簿の改訂にも利用されています。今年度も、会計担当山田先輩を中心に、名簿の改訂作業が実施されました。

個人情報ですから、もちろん慎重に管理していますが、死蔵していても意味がありません。同好会や部活ＯＢ会の案内など、会員間の親睦活動へのご活用を期待しています。

利用ご希望の際は、具体的な使用方法や必要な範囲を特定し、常任幹事を通じて、総務委員へお声をかけて下さい。

【企画委員会】

河津 明信（高33回）

あと1年余りで百周年を迎えます。当番幹事「4の回」と共に準備委員会を立上げ、動き始めました。当委員会は、次世代への継承として福高塾を開催していますが、百周年では、総会・懇親会と塾の共催による外尾悦郎氏の講演を予定しています。

国内外あらゆる分野でＯＢ・ＯＧが活躍しており、その英知と伝統を次世代の方々は学ぶチャンスをもっています。ぜひ、こうした機会を生かし糧として欲しいと考えます。

同窓生と在学生の縦と横のつながりが有機的に発展すれば、リーダーシップと行動によって、これからの時代を切り開いていくことができると信じています。若い世代の方々が現状に満足せず、可能性への挑戦と更なる向上を目指して進む上で当委員会の活動がお役に立てたらと願ってやみません。

【広報委員会】

担当副会長・委員長

岩瀬 智子（高39回）

広報委員会は「東京あさぼらけ編集委員会」と「ＩＴ・ＳＮＳ委員会」の2つの小委員会から構成されています。後者の「ＩＴ・ＳＮＳ」は昨年6月の常任幹事会で新設が承認されたものです。

この小委員会は東京同窓会のホームページやＦａｃｅｂｏｏｋ（ＦＢ）の管理・投稿を行う部門であり、時代の流れから、情報発信の場として大いに活用することをねらいとして、同窓会組織に「明確」に位置づけられました。

そのねらいにもかかわらず、まだうまく回っているとは言えませんが、耳より情報や、情報が古いというご指摘は〝大好物・大歓迎〟ですので、会員の皆様からのご連絡をお待ちしております。また、ＦＢについてはアカウントをお持ちであれば自由に投稿できますので、同窓生に広く伝えたい情報がございましたら、ぜひご利用ください。

【会計からの報告】

山田 健二（高27回）

平成26年度一般会計では、会費は前年度並みで目標の千名・２００万円は未達でした。平成27年度は11月15日時点で前年度比少し増えており、期待しているところです。

もちろん、会費が増えれば良いというものではなく、同窓会活動そのものが盛り上がることが大切です。百周年を来年に控え、東京でも様々な企画が検討されています。盛り上がりの起爆剤になることを期待しています。

先日、ネットで「4人に1人は同窓会に行きたくないが、行ってみた人の9割は行って良かったと思っている」という情報を見つけました。信ぴょう性はともかく私の経験と合致します。行って良かったと言う人がひとりでも増えるよう、一緒に同窓会活動を盛り上げていきましょう。予算のことで相談がある場合は遠慮なくご連絡ください。

【会員拡充委員会】

担当副会長・委員長

新谷 康之（高35回）

当委員会では、会員拡充のために若手同士の交流会等を「できることを」「できるところから」「できるだけ」実行する方針で取り組んでいます。

平成27年度は、11月に「就活を応援する会」を開催、28年2月には東京福岡県人会主催「就活を応援する会」に参加し、福岡県内の各校同窓会と連携し学校の枠を超えて若手の就活を応援する取組を行いました。さらに、今後は若手会員の拡充だけでなく、80歳以上の先輩方の窓口機能も併せ持ち、同窓会関係の情報収集・発信を行うことになりました。

このように様々な活動に取り組んでいる当委員会では、新メンバーを募集しています。興味のある方は、新谷又は委員会メンバーまでご連絡ください。同窓会活動を一緒に楽しみましょう！

東京福中福高同窓会
平成26年度　一般会計決算報告書

金額(円)

収入の部	決算	支出の部	決算
前期繰越金	3,636,787	総会会場費	300,000
会費	1,712,000	総会案内発送費	351,530
広告料	350,000	常任幹事会会議費	500,695
懇親会費（参加者負担分）	207,000	あさぼらけ作成費	693,480
特別会計より	293,562	ホームページ維持費	44,280
その他（実取利息）	309	積立金	150,000
		雑費	112,184
		レンタル倉庫費	148,800
		他	153,646
		小計	2,454,615
		次期繰越金	3,745,023
合計	6,199,638	合計	6,199,638

平成27年度　特別会計決算報告書

金額(円)

収入の部	決算	支出の部	決算
一般会計より会場費	300,000	会場費	2,701,871
参加費	3,025,000	企画経費	348,297
その他	68,000	進行経費	108,738
		動員経費	79,811
		その他経費	79,872
		小計	3,318,589
		収益	74,411
合計	3,393,000	合計	3,393,000

編集後記②

◆今年は、東京同窓会の渉外担当と東京福岡県人会の同窓会協力委員の両方に任命していただきました。母校と故郷に対する思いがさらに深まるとともに、福岡に関わる方々の良好な関係づくりに少しでもお役に立てるよう気合いが入りました。（占部正尚・高33回）

◆江口さんの取材は新橋駅前のルノアール会議室で「福高同窓会」という名称を掲げて行いました。途中、注文を取りに来られた店員さんが「福高とは福岡県のですか？ 私、55回生です」と。素敵な偶然。すべてはご縁。ご縁は大切にしなければ。（岩瀬智子・高39回）

◆同級の漆芸作家・上野明弘君に寄稿してもらいました。彼は石川、私は東京と25年を経ての交流に深い感慨をもちました。その彼がこの度、第33回日本伝統漆芸展で文部科学大臣賞を受賞しました。皆さん、目にする機会があれば、ぜひ！

（森 崇王・高43回）

◆「戦後70年」の年、僕は『吾が青春に悔いあり』という分厚い本を作る手伝いをした。3年前、92歳で亡くなった丙種合格の「ある一兵卒」の暴力と理不尽さまみれの軍隊生活の記録、平和を求める遺書である。若者に読んでほしい本だ。

（福士義彦・高14回）

◆大正14年創立のヴァレー部が90年を迎えた。鈴懸の木が近くにある屋外コートが聖地であった為「すゞかけの樹」がバレー部のシンボルとなった。大学時代はあの名曲「鈴懸の径」で陸トレと、鈴懸に縁がある。最後に見たのはイーハトーブ館か。

（古賀芳和・高29回）

◆大隅さんの文化功労者選出の朗報で紙面構成を変更。朗報ならば何度でも変更ＯＫ。

次号は母校創立百周年記念号。百周年のお祝いとノーベル賞受賞のお祝いとが掲載できるのではと胸がふくらむ。

今号でも各分野で活躍する同窓生を紹介することができた。その中でも在インドの同窓生の苦労と意欲は胸をうつ。母校が輩出した人材は大きな「福中・福高山脈」を形成している。

創立百周年に向けて同窓会による諸事業が企画されているが、その成否は一に同窓生の支援にかかっている。

（齋藤利久・高16回）